

くらしにおける現状と対応



災害時において



災害時におけるエピソード

地震が起きたときに、近所の避難所に逃げ込んだものの、受付で性別を尋ねられて、トランスジェンダーである自分は返事に困った。その避難所には、男女別のトイレしかなく、生物学的性別のトイレを利用するように言われ、周囲の目が気になり、倒壊の恐れがある自宅に戻った。支援物資も生理用のナプキンなどがもらいにくかった。でも、性別に関わらず利用できるお風呂の紹介をしてくれているところもあって、とても助かった。

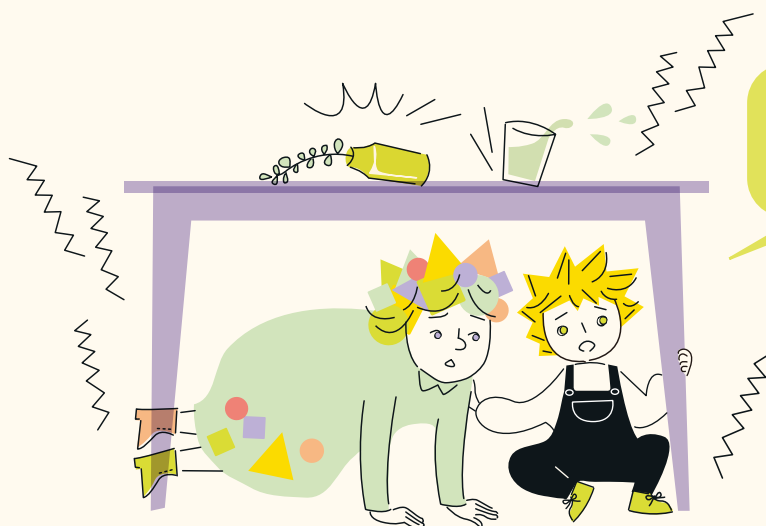
「Take it ! 虹」聞き取り

家族として共に生活をしている同性のパートナーがいる。ある日、お互い仕事に出かけたのち、大きな地震が起きた。職場も離れており、携帯電話もパンクしてしまって、連絡がつかない中で、家族として、法的に認められていないと、検索願ひも出せないのではないかと恐怖を感じた。幸い、お互いに無事で、すぐに再会することができたが、改めて社会的な立場の弱さを感じた。

「Take it ! 虹」聞き取り

想定される困りごと

- 避難者名簿に戸籍上の名前を書かなければいけないと思い、避難所に行けない。
- 避難所でトランスジェンダーが想定されておらず、性別を問わずに利用できるスペースが少ない。
- 同性パートナーが想定されておらず、家族の安否確認や、避難所での共同スペース利用が認められにくい。
- パートナーが意識不明の重体などになり、意思表示ができない場合、パートナーに連絡がいかない場合がある。
- 男女別の支援物資の受け取りを断られる。
- 災害時、他の治療と比較し、ホルモン治療の優先順位が低く見られやすい。
- プライバシー保護が徹底されず、その人のセクシュアリティが周囲にばれてしまう。

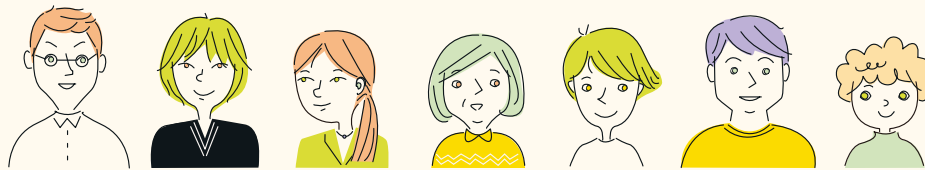


日常生活の中で
性の多様性が想定されていないと、
緊急時にも適切な対応がとりにくいんだ

だからこそ、
日頃からの積み重ねが大切だね

県内の性的少数者の声

いろんな思いや体験を抱えながら、今日も私たちはあなたと共に暮らしています。



学校で性的指向や性自認についての悩みを相談したくても、相談する場所がなく、支援が受けられなかった。結果、メンタルヘルスが悪化し、自殺未遂や自傷行為に追い込まれた。

(20代:ノンバイナリー)



家庭の中で、「異性愛以外は不自然」「気持ち悪い」と差別的な発言が繰り返され、家に居づらいつける。

(40代:Xジェンダー)



親に性自認についてカミングアウトしたら、その後、熱心に勉強してくれて、性別適合手術などのサポートや支援をしてくれた。

(20代:トランスジェンダー)



ネットで知り合った人とカフェに行く約束をして会ったら、その人が呼んだ別の人から、性的暴行を受けた。でも、誰にも相談できなかった。(10代:ゲイ)



信頼していた友人にカミングアウトしたところ、別の友人から「あなたがゲイだと聞いたよ」と言われ、アウティングされていることを知った。(50代:ゲイ)



レズビアンカップルで子育てをしているが、子どもの体調不良時などに、病院に連れて行っても、家族としての関係を示すものがなく、いつも不安な気持ちで受診をしている。(50代:レズビアン)



人を好きにならないとカミングアウトしたところ、「性的な体験が不足しているのだ」と言われ、性的暴行を受けた。

(20代:Aセクシュアル)



就職の面接時にカミングアウトしたら、会社側から「勤務時や検診時などにどのような配慮があれば良いか、いつでも話してほしい」と言ってもらえた。

(20代:トランスジェンダー)



さまざまな人と出会う中で、戸籍の性別を変更しなくても、自分らしく生きていけることを知り、安心した。望まない手術をしなくて済んだ。

(30代:トランスジェンダー)



ショッピングモールでパートナーと手をつないで歩いていたら、知らない人から指をさされて笑われた。

(10代:バイセクシュアル)

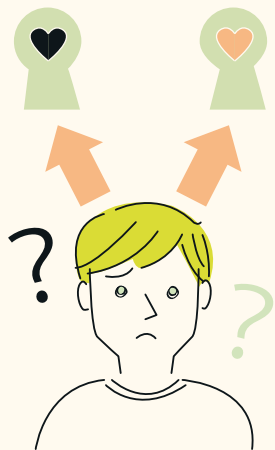


県内の性的少数者の声

私は男性で生まれ女性として生きる性同一性障害当事者です。現在は性別適合手術資金を貯める傍ら、女性として昼間に働き、恋人と一緒に生活をして、親や友人にも認めてもらって、楽しく日々を過ごしています。

学生時代は性同一性障害やLGBTに関する知識に乏しく、自分が何なのかわからない不安、将来に対する不安を抱えながら、「とにかく周りにバレてはいけない」と普通の男子を演じて、苦痛からうつ病や自傷行為を繰り返しました。ありのままの自分をさらけ出せない気持ちや、プールの授業、修学旅行などでひたすらに恥ずかしかつたことを覚えています。性同一性障害の存在を知り、親に打ち明け、初めは険悪になったものの、女の子の服や化粧品、下着を買ってきてくれるなど徐々に理解を示してくれました。高校卒業の頃に生まれ持った名前を現在の名に改名して堂々と名前を名乗れるようになったこと、そして成人式に振袖を着せてもらって、式に出られたことは嬉しくて忘れられません。卒業後女性として働いています。管理職のみ性別の実情を知っていて、現場の方には女性で通してもらい精神的に楽な反面、書類に記載されている性別を見られないか、健康診断、管理職が入れ替わるなど、現在でも大変な思いは続いています。

今思うことは学校で早いうちからLGBT等について正しく触れる機会があれば、重く思い詰めたり腕に傷がついたりしなかったのではないかとという残念な気持ち。今の学生さんには同じ思いを決してして欲しくないで、少しでも多く、マイノリティについて触れる機会が増えれば良いなと強く思っています。(20代:トランスジェンダー)



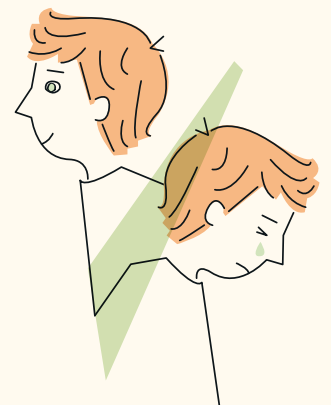
私が今のセクシュアリティで落ち着いたのは社会人になってからで、学生時代は性自認、性的指向の揺れ動きに悩んでいました。中学生の時に初めて同性の人を好きになってから、そのことを周囲に知られたら生きていけないと思い悩む日々が始まりました。

しかし、高校の頃、インターネットを通して、自分と同じように性に悩んでいる人がたくさんいることを知って安心でき、悩んでいた性自認もXジェンダーで落ち着くようになりました。こうして、自分の性のあり方が落ち着いてから、信頼している人達にカミングアウトをすることを決めました。いざカミングアウトすると、「秘密にしていたことを言ってくれてありがとう。信用してくれて言ったんだろうから嬉しいよ。」「親なのにそんなに悩んでいたこと知らなくてごめん。」と言ってもらえ、次の日からもいつも通り接してくれたことが心強かったです。

このハンドブックを読んでいる人の周りにも、私のように悩んでいる人が必ずいると思うので、もしカミングアウトを受けたら、話を聞いてあげてください。性のあり方に関わらず、あなたの大切な人になりませんか。(20代:Xジェンダー・ゲイ)

自分が同性愛者であることを一番わかってもらいたいけど、同時に一番伝えることができない存在、それが家族です。毎日顔を合わせているのに、本当の自分を見せていないことに常に罪悪感を抱きながら生活しています。家族が優しくしてくれる度に、心が張り裂けそうになるくらい苦しくなる。こんな息子でごめんねっていつも思っています。そんな家族の前では、私はこれからも“本当の自分”を隠して生きていきます。

一方で、長崎のLGBTQ交流会に参加して同じ当事者やアライの方々と話をしたりすることで、自分は居ていいんだと思える時があります。彼らは私にとって、ある意味で家族以上に心許せる大切な存在です。彼らと交流をする度に、心の中にできた壁が一枚ずつ剥がれていき、心が軽くなり、“本当の自分”でいられることがこんなにも心地いいのか、と感動に似た感情に浸れるのです。これからは、焦らずに少しずつ、私のことやLGBTQのことを知って、「あなたはあなたのままでいいんだよ」とささやいてくれる人を見つけていきたいと思えます。(30代:ゲイ)

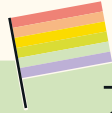


アライについて

アライとは？

性的少数者のことを理解し、支援するという考えや、その考えを持つ人のこと。英語のAlliance(同盟・提携)が語源で、当事者に共感し、寄り添いたいと思う人たちを指します。

Alliance



アライの声

「Take it! 虹」聞き取り

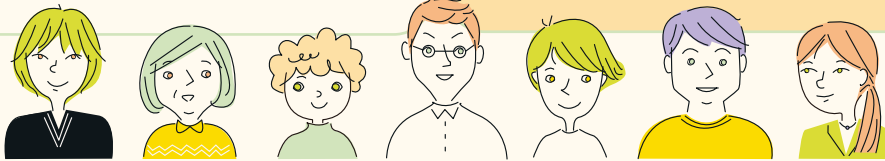
子どもからカミングアウトされたとき、一瞬戸惑ったけど、自分の子どもであることには変わらないと思った。そう思うと、打ち明けてもらえたことが純粹にうれしかった。(佐世保市:50代)

元教員です。卒業後に学生がカミングアウトしてくれたことをきっかけに、自分でもいっぱい勉強して、性の多様性が尊重されるまちづくりを目指して活動しているよ。(長崎市:50代)

性的少数者であることは別に特別なことだとは思わない。自分自身も障がいがあることを理由に辛い体験してきたので、ちがいを超えて、お互いに助け合えたらいいなあと思っています。

(長崎市:20代)

自分は今現在、自分自身を性的少数者だとは思っていないけど、友達のカミングアウトをきっかけに、性の多様性について学ぶようになりました。いつか、ひょっとしたら、自分も素敵な同性と出会って心惹かれる日が来るかもしれない。性の多様性はいつだって自分のことになりえると思えるようになりました。(諫早市:10代)



今からできること

- 自分の身近に性的少数者がいると考える。
- 「ホモ」「オカマ」「レズ」という言葉を使わないようにする。
- 見た目ではほかの人の性のあり方を決めつけないようにする。
- 自分には知らないことがあるのだと意識して、新しいことをたくさん学ぶ。

早速、今日から実践してみるよ!



アライが増えると、安心して生活できる人も増えるニャ~



パートナーシップ制度について



いわゆる「パートナーシップ制度」について、公式な定義はありませんが、概ね、一方又は双方が性的少数者である二人が、互いを人生のパートナーとし、相互の協力により、継続的な共同生活を行う関係であることを、自治体が証明書を交付、またはそうした内容の宣誓書の受領証を交付するもので、性の多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会を目指すことを目的としています。この制度を導入する自治体が出てきています。
※県内では、長崎市で導入されています。(令和2年2月末現在)

対象者の要件

自治体によって多少異なりますが、概ね、以下のよう要件(いずれにも該当)となっています。

- 一方又は双方が性的少数者であること
- その自治体に住所を有しているか、転入予定であること
- 成人であること
- 配偶者及び他のパートナーがいないこと
- 近親者でないこと

制度の効果

法律上の婚姻とは異なるため、相続や税制面などにおける法的効力はありませんが、その自治体が認める行政サービスの手続きが可能となります(例:公営住宅への入居申請、自治体運営の病院での手術同意など)。また、民間事業者の顧客向けサービスや従業員への福利厚生面において適用される事例が出てきています。



県内でパートナーシップ制度を利用しているカップル



長崎で大切な人と、パートナーとして生活を共にしていきたい。そう願った当時、長崎にはパートナーシップ制度がありませんでした。想いに共感してくれた、たくさんの方の協力のおかげで、パートナーシップ宣誓制度ができたとき「これで二人の関係をパートナーと呼べる！」そう思うと、とても嬉しかったです。現在は、利用できる行政・民間サービスなども少ないですが、勤め先での規約見直しなどのきっかけなどに繋がりました！これから先、制度を利用する人が増えると、社会の認知も上がってくると思います。そうなれば今後もっと生きやすくなったり、楽しい人生になると思うので、みんなで日本を変えていきましょう!! (30代:レズビアンカップル)





おすすめの映画・書籍・教材



映画(DVD)

- 【チョコレートドーナツ】2012年作／97分／アメリカ
- 【MILK(ミルク)】2008年作／128分／アメリカ
- 【ボーイズ・ドント・クライ】1999年作／119分／アメリカ
- 【カラコエの花】2016年作／39分／日本
- 【パレードへようこそ】2014年作／121分／イギリス
- 【ナチュラルウーマン】2017年作／104分／チリ・ドイツ・スペイン・アメリカ合作



まんが・絵本

- 【いろいろななかぞくのはほん】メアリ・ホフマン著(少年写真新聞社)
- 【ふたりママの家で】パトリシア・ポラッコ著(サウザンブックス社)
- 【Red-あかくてあおいクレヨンのはなし】マイケル・ホール著(こどもの未来社)
- 【弟の夫】田亀源五郎著(双葉社)



書籍

- 【LGBTってなんだろう？-体の性・こころの性・好きになる性-】
薬師実芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津己著(合同出版)
- 【初めて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで】石田仁著(ナツメ社)
- 【にじ色の本棚-LGBTガイドブック】原ミナ汰・土肥いつき編著(三一書房)
- 【職場のLGBT読本】柳沢正和・村木真紀・後藤純一著(実務教育出版)
- 【カミングアウトレターズ～子どもと親、生徒と教師の往復書簡】RYOJI・砂川秀樹著(太郎次郎社エディタス)
- 【学校病院で必ず役立つLGBTサポートブック】はたちさこ・藤井ひろみ・桂木祥子編著(保育社)
- 【ひとりひとりの「性」を大切にできる社会へ】遠藤まめた著(新日本出版社)



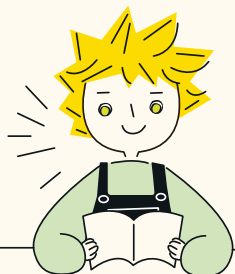
教材として利用できるもの

- 【小学生向け教材「いろんな性別～LGBTに聞いてみよう！～」】(新設Cチーム)
- 【中学生向け:きみと友達でいたいから～知りたい、多様な性のかたち～】(大阪市)
※大阪市LGBT支援サイトにてYouTube動画が見られます。
※大阪市人権ユニバーサル事業のHPから
「活用の手引き」と「ワークシート・スライド」がダウンロードできます。



PDFダウンロード可能なもの

- 【小学校高学年・中学校向け教材「AllyTeachersToolKit(アライ先生キット)」】
(認定NPO法人 ReBit)
- 【ろうLGBTサポートブック】(Derf LGBTQ Center)
- 【LGBTと医療福祉(改訂版)】(QWRC制作冊子)
- 【リンゴの色～LGBTを知っていますか？～】人権啓発マンガ冊子(大分県)





相談窓口等一覧

相談窓口

長崎県人権教育啓発センター



「LGBT相談デー」

090-5939-5095

毎月第3土曜日9時30分から13時まで
※専門の相談員(臨床心理士)が対応します。



「人権全般・研修相談」

095-826-5115

9時から17時まで
(祝日、年末年始を除く)
※人権全般の相談対応のほか、企業・団体
等からの依頼研修も受け付けています。

「図書・ビデオの貸し出し」

※図書・ビデオの無料貸し出しを行っています。

長崎いのちの電話



095-842-4343

9時から22時まで(年中無休)
※毎月第1・3土曜日は22時から翌日9時まで延長

サポートながさき

「性暴力被害相談専用ホットライン」



095-895-8856

9時30分から17時まで
(土日、祝日、年末年始を除く)
※同性間での性暴力被害についても
相談を受け付けています。

よりそいホットライン



0120-279-338

セクシュアルマイノリティ専門回線4番
24時間 全国どこからでも通話料無料

みんなの人権110番



(全国共通)

0570-003-110

8時30分から17時15分まで
(土日、祝日、年末年始を除く)

県内の性的少数者支援団体

Take it! 虹

ホームページ <https://takeitnizi.wordpress.com>



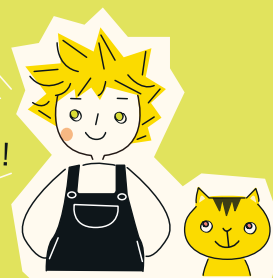
長崎県内で性の多様性のサポートや啓発活動を行っています。

- 月に一度の交流会 ※性の多様性に関心があれば誰でも参加できます。
- 講師派遣 ※これまで学生・教職員・行政・企業・市民団体などに派遣しています。
- ながさき・愛の映画祭 ※他団体と連携し、多様性を尊重するまちづくりを行っています。
- 行政連携・提言 ※県や長崎市の人権啓発懇話会委員などを務め、施策への提言を行っています。



いろんな相談先があるんだね

相談先を知っていると
心強いね!



性の多様性ロゴマーク最優秀作品

長崎県が平成30年度に中高生・大学生等を対象に、様々な性についての理解を深めてもらうため、性的少数者の人権を尊重し、大切にすることを表すロゴマークのデザインを募集したものです。



〈中学校の部〉
長崎市立東長崎中学校2年
伊東 夢叶さん



〈高等学校の部〉
長崎県立波佐見高等学校1年
本田 未来都さん



〈大学等の部〉
長崎大学教育学部1年
阪本 彩葉さん

※学校・学年は受賞当時のものです。




発行：長崎県人権・同和対策課（令和2年3月発行）

〒850-8570 長崎市尾上町 3-1

電話：095-826-2585 / FAX: 095-826-4874

制作：Take it！虹

このハンドブックは、県ホームページからダウンロードできます。[長崎県人権・同和対策課](#)  で検索してください。

このハンドブックは、法務省からの委託により制作しています。